

期 間 入 札 の 公 告

令和 8 年 10 月 14 日

東京地方裁判所民事第 21 部

裁判所書記官 管 野 晶 人

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8 年 10 月 29 日 午前 9 時 00 分から 令和 8 年 11 月 5 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 8 年 11 月 11 日 午前 9 時 30 分 場 所 東京地方裁判所民事執行センター売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8 年 11 月 19 日 午前 11 時 00 分 場 所 東京地方裁判所民事第 21 部
特別売却 実施期間	令和 8 年 11 月 12 日 午前 9 時 20 分から 令和 8 年 11 月 16 日 午後 5 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行, 損害保険会社, 農林中央金庫, 商工組合中央金庫, 全国を地区とする信用金庫連合会, 信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので, 権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り, 買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため, 物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8 年 10 月 14 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額 (円) 買受可能価額 (円)	一括 売却	買受申出保証額 (円)	令和 7 年度	
				固定資産税 (円)	都市計画税 (円)
1	5,250,000 4,200,000		1,050,000	17,067	3,656
備考					



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 杉並区井草二丁目 204 番地、205 番地 2

建物の名称 メインステージ井荻駅前

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 井草二丁目 204 番 1 の 202

建物の名称 202 号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 2 階部分 13.36 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 杉並区井草二丁目 204 番

地 目 宅地

地 積 217.19 平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 杉並区井草二丁目 205 番 2

地 目 宅地

地 積 165.30 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1・2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 70340 分の 1585



物 件 明 細 書

令和 8 年 9 月 18 日

東京地方裁判所民事第 21 部

裁判所書記官 管 野 晶 人

1 不動産の表示

【物件番号 1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1】

賃借権

範 囲 全部

賃借人 B

期 限 令和 9 年 8 月 25 日まで

賃 料 月額 38,000 円

賃料前払 なし

敷 金 なし

保証金 なし

上記賃借権は最先の賃借権である。期限後の更新は買受人に対抗できる。

4 物件の占有状況等に関する特記事項

なし

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号 1】

管理費等の滞納あり。

《 注 意 書 》

1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。

2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調



査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。

- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、B I Tシステムのお知らせメニューにも登載されています。



11

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 杉並区井草二丁目204番地、205番地2

建物の名称 メインステージ井荻駅前

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 井草二丁目204番1の202

建物の名称 202号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 2階部分 13.36平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 杉並区井草二丁目204番

地 目 宅地

地 積 217.19平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 杉並区井草二丁目205番2

地 目 宅地

地 積 165.30平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1・2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 70340分の1585



令和8年（ケ）第 228号
令和8年 7月17日 受理
令和8年 8月26日 提出
（評価人 在間 浩二）

現況調査報告書

東京地方裁判所
執行官 岡 克 吉

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 杉並区井草二丁目 204 番地、205 番地 2

建物の名称 メインステージ井荻駅前

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 井草二丁目 204 番 1 の 202

建物の名称 202 号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 2 階部分 13.36 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 杉並区井草二丁目 204 番

地 目 宅地

地 積 217.19 平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 杉並区井草二丁目 205 番 2

地 目 宅地

地 積 165.30 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1・2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 70340 分の 1585

(/ 枚目)

(区分所有建物用1)

不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	杉並区井草2丁目2番5-202号 メインステージ井荻駅前		
建物	物件1		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☐ 床面積:		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類: 構造: 床面積:		
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☒ その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している。 ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり		
管理費等の状況	☒ 月額は次のとおり 管理費 6,400 円 修繕積立金 5,120 円	令和8年8月5日現在 ☐ 滞納はない ☒ 滞納がある	令和8年7月分～ 令和8年8月分 計 23,040 円 ☒ 遅延損害金 円 (年利 18.25%)
管理費等照会先	株式会社青山メイン企画		
その他の事項			
敷地権	符号1、2		
現況地目	☒ 宅地 (符号1、2) ☐ 公衆用道路 (符号) ☐ (符号)		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
敷地権の種類	☒ 所有権 (符号1、2) ☐ 地上権 (符号) ☐ 賃借権 (符号) ☐ (符号)		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある { 地方裁判所 支部 平成 年 () 第 号 保管開始日 平成 年 月 日		
敷地権以外の土地 (目的外土地)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

(占有関係用 (単独))

占有者及び占有権原 (物件1 関係)

占有範囲	■全部 ☐		
占有者	☐ 債務者 ■B		
占有状況	☐ 敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☒ 居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫 ☐		
■関係人 (■B (占有者) ☐ ()) の陳述 / ■提示文書 (回答書・契約書) の要旨			
占有権原	■賃借権 ☐ 使用借権 ☐		
占有開始時期	平成29年8月26日		
最初の契約等	契約日	平成29年8月25日	
	期間	平成29年8月26日から ■令和元年8月25日まで 2年間 ☐ 期間の定めなし	
更新の種別	■合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新		
現在の契約等	期間	令和7年8月26日から ■令和9年8月25日まで 2年間 ☐ 期間の定めなし	
契約等当事者	貸主	■所有者 ☐ その他の者 ()	
	借主	■占有者 ☐ その他の者 ()	
賃料・支払時期等	毎月 金38,000円 (毎月末日限り翌月分支払) ☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)		
敷金・保証金	■ない ☐ ある (☐ 敷金 円 ☐ 保証金 円)		
特約等	☐ 譲渡・転貸を認める ☐		
その他	・共益費 月額9,000円 ・最初の契約の貸主：株式会社青山メイン企画		
執行官の意見	■上記のとおり ☐ 下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(3 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
B (賃借人)	1 本件建物は、私が所有者から賃借し、居宅として使用しています。 2 私は本件建物を平成29年8月26日から賃借し居住していますが、途中で所有権の移転に伴い、貸主が本件所有者 A に変更されています。 (令和8年8月4日面接聴取)

執行官の意見

- 1 本件対象物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 2 関係人の陳述及び提出された回答書の内容から、賃借人 B は、平成 29 年 8 月 26 日から物件 1 建物を賃借し居住しているが、所有権の移転に伴い、貸主が本件所有者 A に承継されているものとする。
- 3 物件 1 建物の占有状況は、関係人の陳述、賃借人 B あて郵便物の存在及び提出された回答書等の内容並びに現場の状況から、2 枚目及び 3 枚目記載のとおり報告する。

以 上

調 査 の 経 過

調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和8年7月24日 : : :	当庁 (郵便)	■所有者に対し、照会書送付
令和8年7月24日 14:50-15:10	物件所在地	■物件確認 ■物件調査 ■占有調査 ■写真撮影 □図面作成 ■居住者に対し、通知書・照会書差置き
令和8年7月30日 : : :	当庁 (ファックス)	■管理費に関する調査
令和8年8月4日 11:00-11:30	物件所在地	■物件確認 ■物件調査 ■占有調査 ■写真撮影 ■図面作成 ■評価人を同行 ■賃借人Bに 面接聴取
令和 年 月 日 : : :		
令和 年 月 日 : : :		
令和 年 月 日 : : :		
令和 年 月 日 : : :		

(特記事項)

■ 令和8年8月4日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

□ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

□ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

(写真 3点添付)

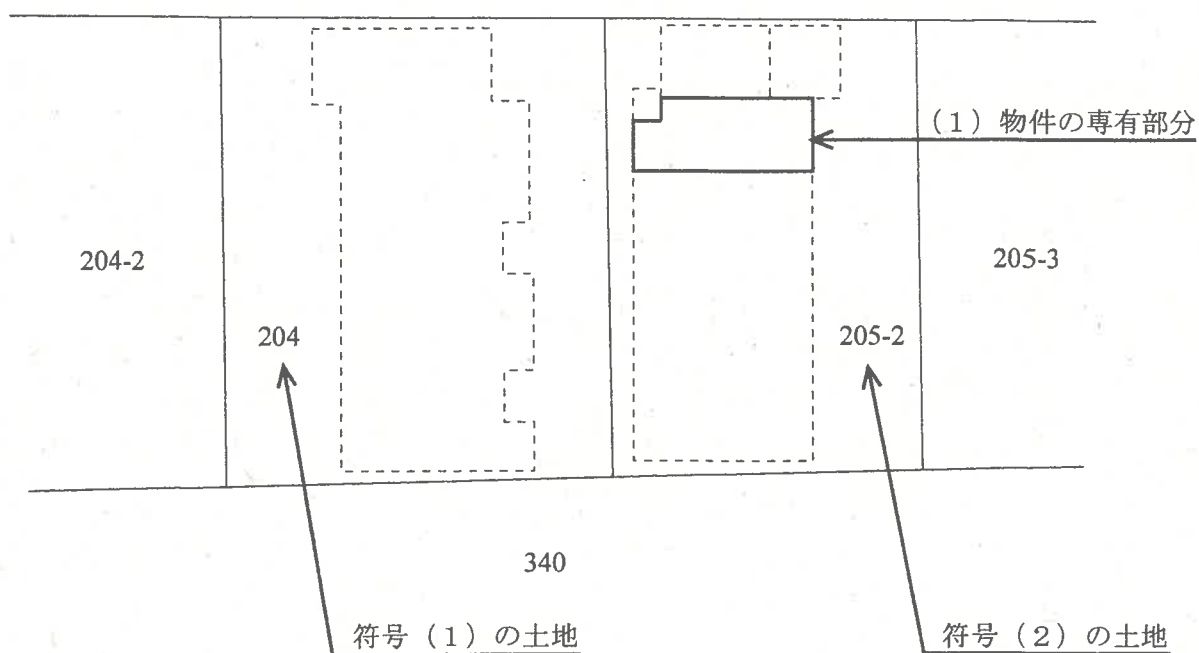
土地建物位置関係図

令和8年（ケ）第228号

建物の存する部分 2階
建物の名称 202



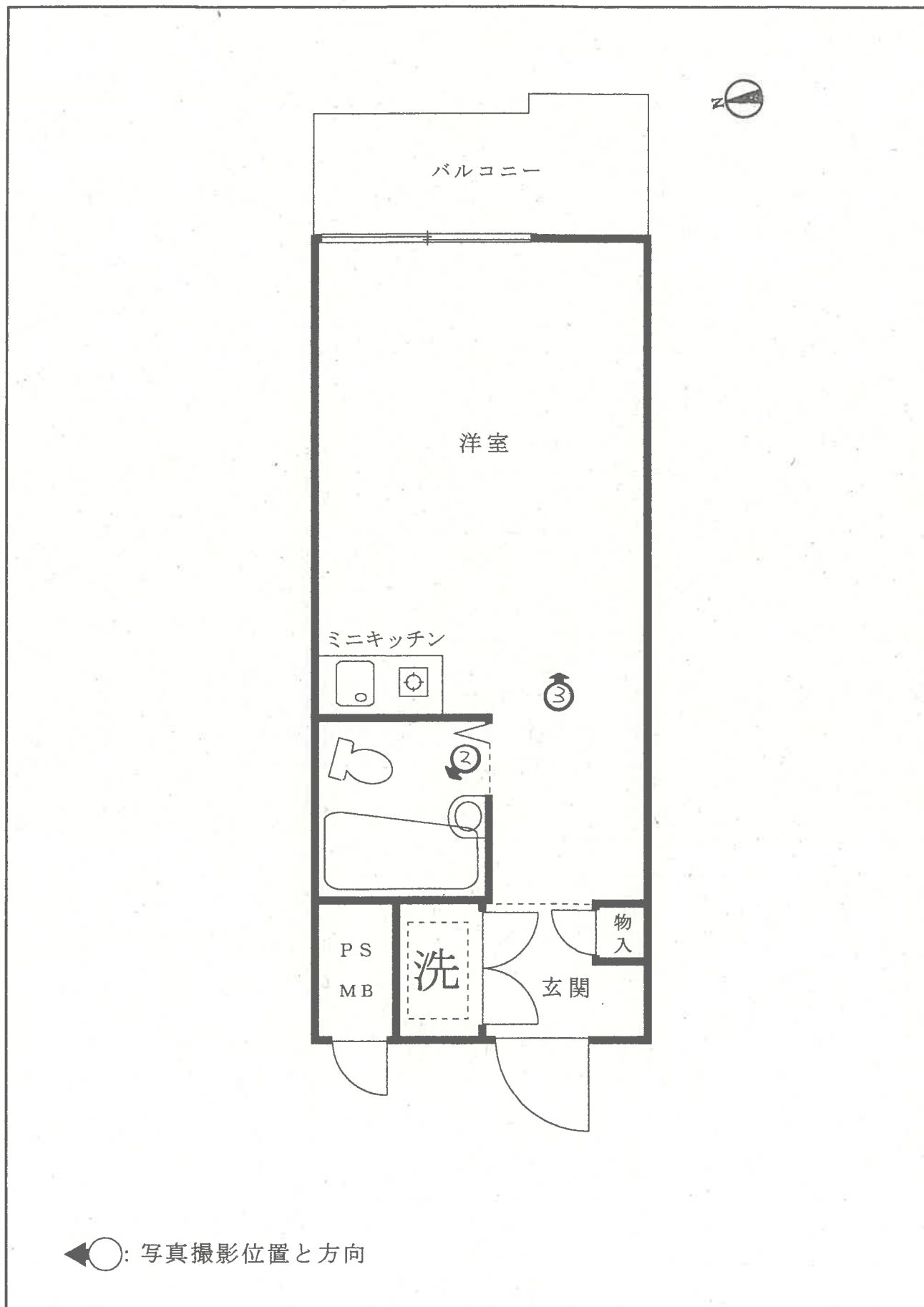
道 路



◀○: 写真撮影位置と方向

建物間取図

令和8年(ケ)第228号



(8 枚目)

1



2



3



令和 8 年（ケ）第 228 号
令和 8 年 8 月 4 日 現地調査
令和 8 年 8 月 26 日 評価

東京地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 在 間 浩 二

第 1 評価額

物 件 番 号	評 価 額
物 件 1	金 5,250,000円

第 2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。

- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。

- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 58 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登記	現況
1	次頁物件目録記載のとおり		(住居表示) 杉並区井草2-2-5 (マンション名、部屋番号) メインステージ井荻駅前、202号室
番号	特記事項		
	特になし		

*現況欄に記載のない事項については、登記記録とほぼ同じである。

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 杉並区井草二丁目 204 番地、205 番地 2

建物の名称 メインステージ井荻駅前

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 井草二丁目 204 番 1 の 202

建物の名称 202 号

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 2 階部分 13.36 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 杉並区井草二丁目 204 番

地 目 宅地

地 積 217.19 平方メートル

土地の符号 2

所在及び地番 杉並区井草二丁目 205 番 2

地 目 宅地

地 積 165.30 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1・2

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 70340 分の 1585

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等

位 置 ・ 交 通	西武新宿線「井荻」駅の東方約300m（徒歩約4分） 杉並区井草2丁目2番街区に位置する。 （距離は道路距離、附属資料「位置図」参照）	
付 近 の 状 況	一般住宅、アパート等が建ち並ぶ住宅地域	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 （道路の幅員等の 個別的な規制を 考慮しない一般 的な規制）	都市計画区分 用途地域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	市街化区域 第二種中高層住居専用地域 60% 200% 準防火地域 第二種高度地区、日影規制3h-2h/4m 敷地面積の最低限度60㎡
画 地 条 件	地 積 形 状 間 口 ・ 奥 行 地 勢 そ の 他	382.49㎡（登記記録） 長方形 間口約24.2m、奥行約16.1m ほぼ平坦 特になし
接面道路の状況等	北側で幅員約5.5mの舗装区道（建築基準法第42条1項1号道路）にほぼ等高に接面する中間画地。	
土地の利用状況等	後記一棟の区分所有建物の敷地として利用されている。 建物の配置は附属資料「建物図面・各階平面図写」のとおり。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 都 市 ガ ス 下 水 道	あり あり あり （基本的には前面道路 の施設管の有無を基 準とする）
敷 地 権 の 表 示	敷地権の種類 敷地権の割合	所有権 70,340分の1,585
特 記 事 項	杉並区水害ハザードマップに浸水想定に記載がある。	

2 建物の概況

(1) 一棟の建物の概要

マンション名	メインステージ井荻駅前	
建物の用途	共同住宅（総戸数43戸）	
建築時期及び 経済的残存 耐用年数	建築年月日 経過年数 経済的残存耐用年数	昭和63年3月22日新築（登記記録） 約38年 約12年
構造・延床面積	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 延734.48㎡（登記記録）	
仕様	外壁 その他	タイル貼等 特になし
設備等	オートロック、管理室、ゴミ置場等。 エレベーターは設置されていない。	
建物の品等	標準的	
管理の形態等	管理組合 管理会社 管理形態	あり （株）青山メイン企画 委託管理
管理の状況	標準的	
特記事項	建築時期から見て建築資材にアスベストが含まれている可能性がある。	

(2) 専有部分の概要

構造・種類	鉄筋コンクリート造1階建・居宅	
位置	2階に位置する中間住戸（主たる開口部は東向き）	
床面積	専有面積	13.36㎡（登記記録）
	共用部分を含む 現況床面積	16.52㎡

間 取 り	1 R	
バルコニー等	東向き	
仕 様	天 井 床 内 壁 設 備 そ の 他	ビニールクロス等 カーペット、塩ビシート等 ビニールクロス等 キッチン、3点ユニットバス、収納等 特になし
保守管理の状態	やや劣る（特記事項参照）	
管 理 費 等	管 理 費 修 繕 積 立 金 そ の 他 滞 納 額 遅 延 損 害 金	6,400円／月（令和8年8月5日現在、以下同じ） 5,120円／月 特になし 23,040円（令和8年7月分～令和8年8月分） 回答書に記載なし（年利18.25%）
専 有 部 分 の 利 用 状 況 等	下記〈建物の占有者等の状況一覧〉のとおり。	
特 記 事 項	室内は全体に経年相応に劣化している。 家財等が置いてあるため壁や床の状態を確認できない部分があった。 占有者によると、キッチンの水栓に不具合があり水道が使用できない とのことであった。	

〈建物の占有者等の状況一覧〉

賃貸借契約の概要

賃 貸 人 等	賃 借 人 等	占有開始日	現契約期間	月 額 賃 料	預 り 金 等
所有者	個人	H29. 8. 26	R7. 8. 26 ） R9. 8. 25	38,000円	なし
占有権原は賃借権である。更新の種別は合意更新である。 賃料の他に共益費として月額9,000円の支払あり。 最初の契約の貸主は（株）青山メイン企画である。 賃借人が居宅として使用している。					

第5 評価額算出の過程

本件は区分所有建物の専有部分であり、地域の状況からみて買受人が投資用不動産として保有することも社会的・経済的観点から合理的と判断されるので、積算価格と収益価格を求めて、これらを調整して得た価格に基づき、競売市場を前提とした評価額を下記のとおり決定した。

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 建物価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて下記のとおり建物価格を求めた。

再調達原価 (円/㎡) ア	現況床面積(㎡) イ	現価率 ウ	建物価格(円) エ
415,000	× 16.52	× 0.23	= 1,580,000

ア 再調達原価：一棟の建物の平均単価である。

イ 現況床面積：固定資産税・都市計画税関係証明書記載の現況床面積（共用部分を含む）を採用した。

ウ 現価率：経過年数約38年、経済的残存耐用年数約12年、保守管理の状態等を考慮した観察減価率5%。
耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を下記のとおり査定した。

$$\begin{aligned} \text{現価率} &= \text{経済的残存耐用年数} \div (\text{経過年数} + \text{経済的残存耐用年数}) \times (1 - \text{観察減価率}) \\ &\Rightarrow 12\text{年} \div (38\text{年} + 12\text{年}) \times (1 - 0.05) = 0.23 \quad (\text{小数点第3位を四捨五入}) \end{aligned}$$

エ 建物価格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

② 敷地権価格

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次のとおり求めた。

更 地 価 格		地 積 (㎡)	建付減価	敷 地 権 の 割 合	敷地権価格 (円)
標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	ウ	エ	オ	カ
559,000	× 1.00	× 382.49	× 1.00	× 1,585 / 70,340	= 4,820,000

ア 標準画地価格：下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。
 なお、標準画地は、近隣地域において、土地の概況（形状、間口、奥行、規模等）が標準的な中間画地を想定した。

公示地 （杉並－53）

$$\begin{array}{ccccccccc}
 \text{(公示価格等)} & & \text{(時点修正)} & & \text{(標準化補正)} & & \text{(地域格差)} & & \text{(規準価格)} \\
 506,000 \text{ 円/㎡} & \times & 103.9/100 & \times & 100/100 & \times & 100/94 & = & 559,000 \text{ 円/㎡} \\
 & & & & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)}
 \end{array}$$

時 点 修 正：令和8年1月1日から評価日までの推定地価変動率である。

標 準 化 補 正：公示地等は標準的画地であり補正は不要と判断した。

地 域 格 差：公示地等の所在地域は対象地域に比べ交通接近条件や行政的条件が劣ること等を考慮した。

イ 個 別 格 差：概ね標準的であり補正は不要と判断した。

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建 付 減 価：減価は不要と判断した。

オ 敷地権の割合：登記記録による。

カ 敷 地 権 価 格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

2 積算価格（敷地権付建物の価格）

建物価格 (円) ア	敷地権価格 (円) イ	価格補正 ウ	個別格差 エ	占有減価修正 オ	積算価格 (円) カ
(1,580,000	+ 4,820,000)	× 1.20	× 0.98	× 1.00	= 7,530,000

ア 建 物 価 格：前記1①エ

イ 敷 地 権 価 格：前記1②カ

ウ 価 格 補 正：同一マンション及び周辺類似のマンションの価格水準等を考慮して補正した。

エ 個 別 格 差：階層別補正…1.00（対象＝2階・基準階＝2階）

位置別補正…1.00（中間部屋）

その他…0.98（室内状況）

$$\Rightarrow \text{相 乗 積 } 1.00 \times 1.00 \times 0.98 = 0.98 \quad (\text{小数第3位を四捨五入})$$

オ 占有減価修正：減価は不要と判断した。

カ 積 算 価 格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

II 収益価格の試算（DCF法による）

目的物件は、最先順位の抵当権に優先すると判断される賃借権が付着した区分所有建物であるので、現行の賃貸条件等を前提として収益還元法を適用する。

目的物件を賃貸することにより分析期間中に得られるであろうと予測される有効純収益の現価の合計額に、分析期間末の正味復帰価格の現価を加算して、DCF法（Discounted Cash Flow法）による収益価格を以下のとおり求めた。

但し、当該物件に関する収集可能な資料には限界があり、更に競売による売却後の現実の賃貸借は、当事者間の契約行為によるものであるので、必ずしも想定した賃貸条件に符合する内容が実現するものではない。

《DCF法による価格査定表》

3年間の 有効純収益 現価の合計 ア	正味復帰価格の現価					収益価格 ア＋カ＝キ
	4年目の 有効純収益 イ	最終 還元 利回り ウ	3年目期末 復帰価格※1 $イ \div ウ \times (1 - 0.03)$ エ	複利 現価率 ※2 オ	正味復帰 価格現価 エ×オ＝カ	
(円)	(円)	(%)	(円)		(円)	(円)
1,064,807 (16.8%)	393,960	6.1	6,264,600	0.8420	5,274,800 (83.2%)	= 6,340,000 (100%)

※1 売却に要する仲介手数料等を売却価格（イ÷ウ）の3%と査定した。

※2 複利現価率の計算式

$$1 \div (1 + 5.9\%)^3 = 0.8420 \quad (\text{小数第5位を四捨五入})$$

ア 3年間の有効純収益現価の合計：目的物件を賃貸することにより保有期間中（第1期～第3期）に得られるであろうと予測した各期の有効純収益を、複利現価率で現在価値に割り戻した額の合計である。

イ 4年目の有効純収益：保有期間終了後（4年目）の有効純収益である。

ウ 最終還元利回り：4年目の有効純収益から売却予想価格を求める還元利回りであり、標準的還元利回りに対象不動産の個別リスク等を考慮して査定した。

エ 3年目期末復帰価格：4年目の有効純収益を最終還元利回りで還元して求めた売却予想価格から対象不動産の売却に伴う仲介手数料相当額等を控除した価格である。

オ 複利現価率：一般市場及び競売市場での類型別収益物件の標準的な還元利回り等を参考に査定した。

カ 正味復帰価格現価：保有期間終了後に得られる正味復帰価格の現在価値である。

キ 収益価格：保有期間中に得られる有効純収益の現在価値と保有期間終了後の売却予想価格の現在価値の合計額で、1万円未満四捨五入の端数処理を行った。

Ⅲ 評価額の判定

1 試算価格の調整

積算価格及び収益価格を下記のとおり試算した。

積算価格は、対象不動産を再調達する場合の費用性に着目して求めた価格であるが、本件においては市場性にも留意して求めたものである。

収益価格は、対象不動産が将来生み出すと予想される収益性に着目した理論的な価格で、投資用不動産の評価では重視される価格である。

積算価格と収益価格には開差が生じたが、目的物件に付着する賃借権は最先順位の抵当権に優先すると判断されることを考慮して、本件においては収益価格を重視し、積算価格を関連付け、調整後の価格を下記のとおり求めた。

① 積 算 価 格	7,530,000 円
② 収 益 価 格	6,340,000 円
③ 調 整 後 の 価 格	6,700,000 円

2 評価額の判定

調整後の価格に、市場性修正及び競売市場修正を施し、更に滞納管理費等相当額並びにその他の控除（敷金等）を考慮して評価額を決定した。

調整後の 価格（円）	市場性 修 正	競売市場 修 正	滞納管理費等 相当額の減価	その他の控除 （敷金等）	評 価 額 （ 円 ）
ア	イ	ウ	エ	オ	カ
6,700,000	× 1.00	× 0.80	× 0.98		= 5,250,000

ア 調整後の価格：積算価格と収益価格を調整した後の適正価格。

イ 市場性修正：必要なしと判断した。

ウ 競売市場修正：「第2 評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した修正を行った。

エ 滞納管理費等相当額の減価：滞納管理費等及び代金納付に至る間の管理費等の予想滞納額相当額及び確定している遅延損害金の額を考慮した修正を行った。

オ その他の控除（敷金等）：買受人の引受けとなる敷金等の預り金の控除。本件の場合なし。

カ 評 価 額：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

第6 参考価格資料

地価公示価格 (杉並-53)

所 在 : 杉並区井草1丁目169番1外

住居表示 : 井草1-19-24

価 格 : 506,000 円/㎡

位 置 : 「下井草」駅、360m

価 格 時 点 : 令和8年1月1日

地 積 : 231㎡

供給処理施設 : 水道・ガス・下水

接面街路 : 北 5.5m 区道

用途指定等 : 第一種低層住居専用地域 (建ぺい率50%、容積率100%)
準防火地域

地域の概要 : 中小規模一般住宅、アパートが建ち並ぶ住宅地域

第7 附属資料

位置図

公図写

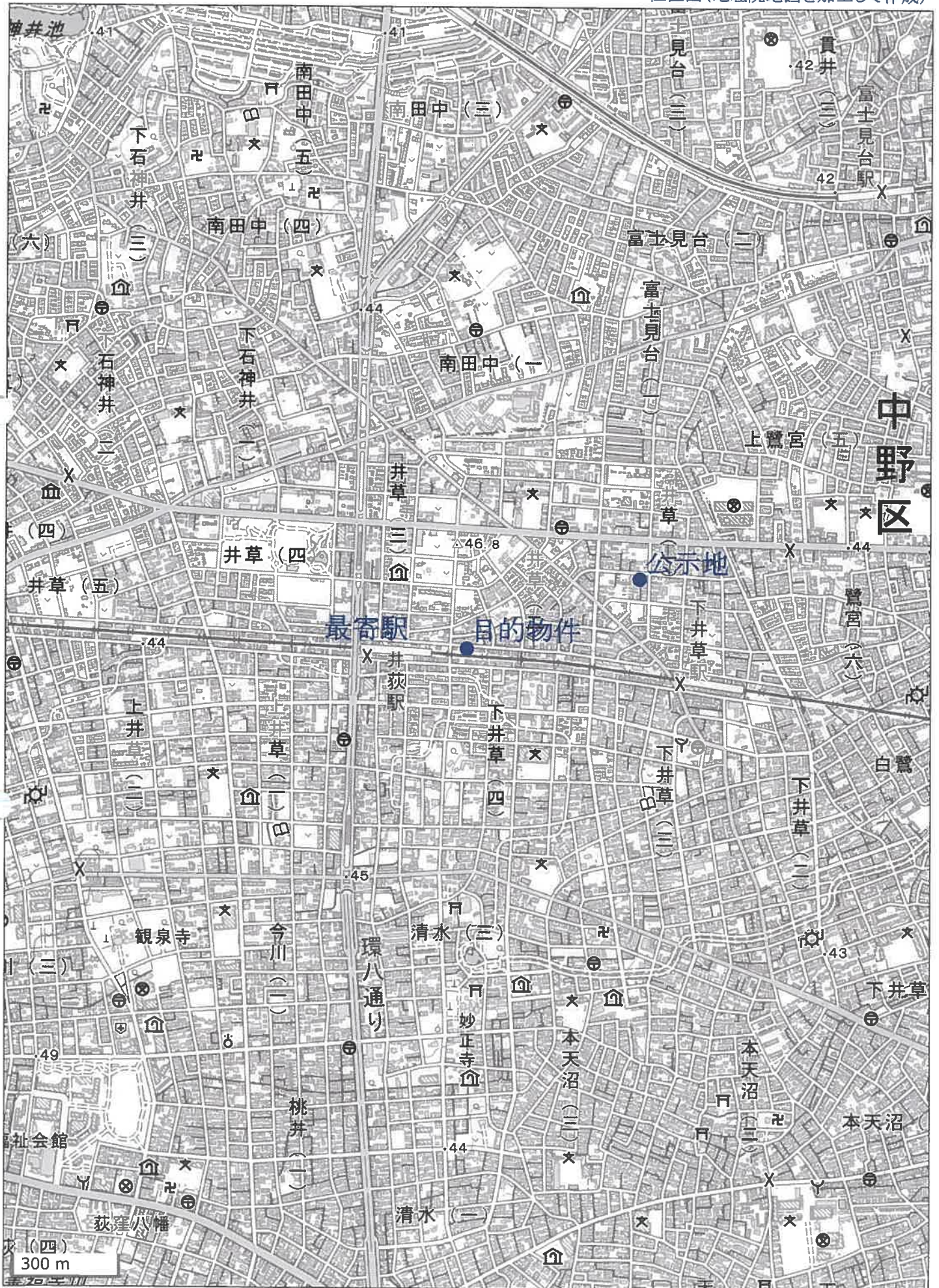
建物図面・各階平面図写

以 上

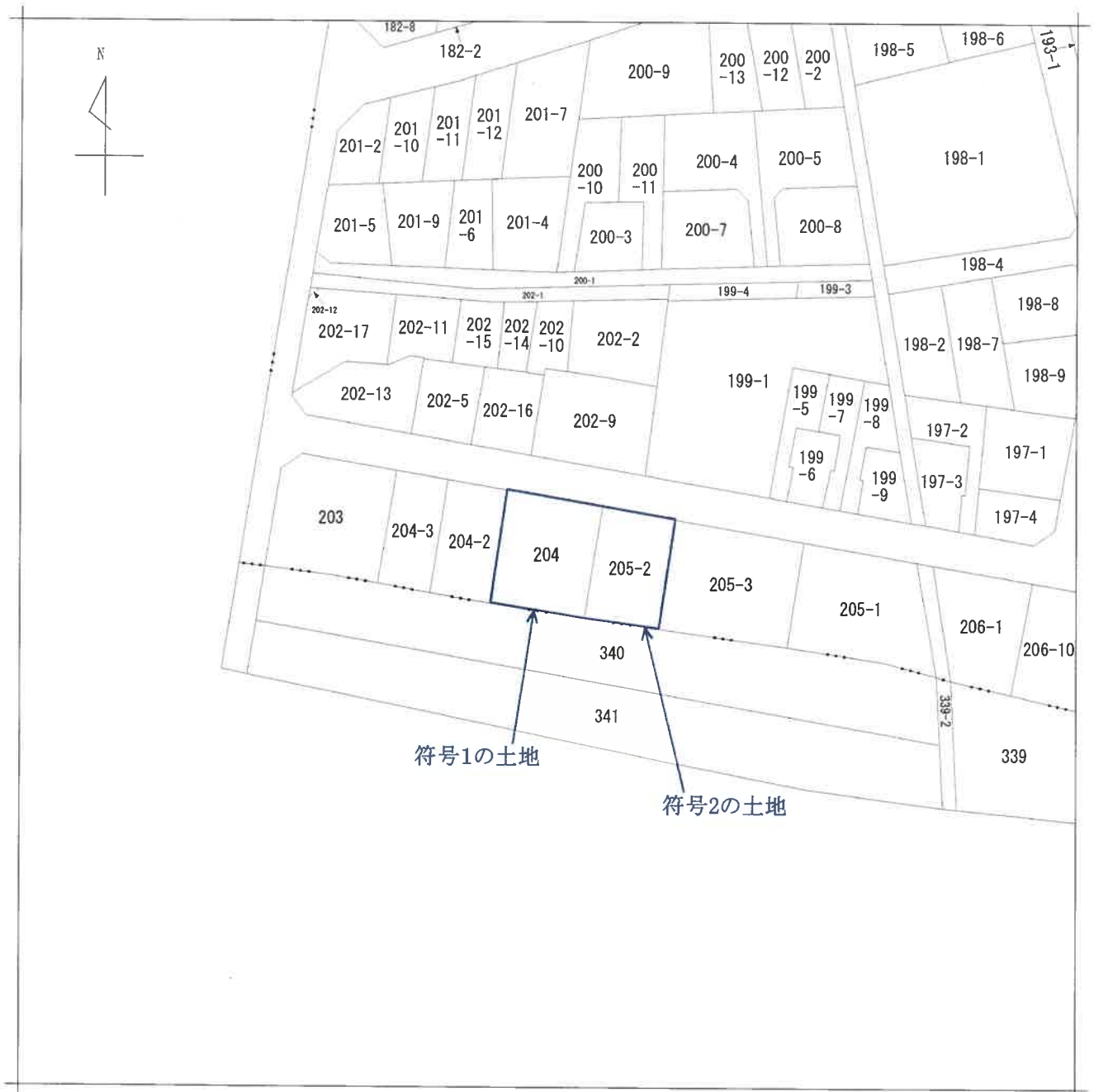
令和8年8月26日

評価人 不動産鑑定士

在 間 浩 二



この図面はA3サイズをA4サイズに縮小したものです



地番区域見出
井草2丁目
下井草4丁目

請求部分	所在	杉並区井草二丁目				地番	204番			
出力縮	1/600	精度区分		座標系 番号又は 記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日					備付年月日 (原図)			補記事項		

この図面はA3サイズをA4サイズに縮小したものです

平成八年春月修書日

各階平面圖

13

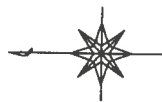
井坂二丁目
204番1の202

杉並区井草二丁目204番地・205番地2

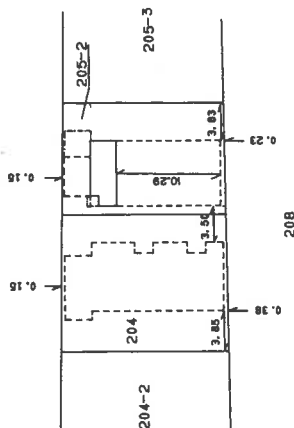
圖面階各

家屋番号

建物の所在



组织



建築物の存する部分2階

建物の番号202号

2112

$$\begin{array}{r} 1 \\ \hline 500 \end{array}$$

縮尺

申請人

$$\frac{1}{250}$$

縮尺

土家屋地調査士
製作者

(東京土地家屋調査士会用紙)

登記年月日：平成8年1月31日

求積表

$$1.760 \times 1.000 = 1.760000$$
$$2.370 \times 4.895 = 11.601150$$

出口	13.361150
进口	13.3611



www.mhhe.com

